

中小企業アンケート結果（平成24年2月実施）

県内中小企業の景況と実態を調査するため、上期（H23.9）に引き続き、下期においても当協会利用の中小企業者500先に対してアンケートを実施いたしました。

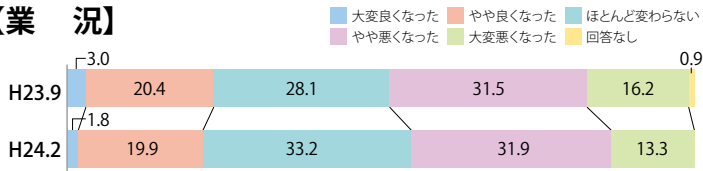
回答の内容は下記のとおりで、県内中小企業の景況感はやや改善の兆しが見られるものの、まだまだ厳しいことが窺えます。本アンケートは今後も継続し、県内の中小企業の景況と実態を把握してまいります。

本調査にご協力いただきました方々に対し、厚く御礼申し上げます。

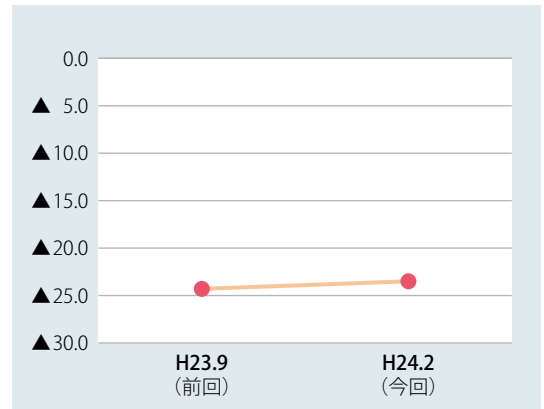
調査対象	当協会を利用する中小企業者 500 企業		
実施時期	平成 24 年 2 月 10 日～平成 24 年 2 月 29 日		
配布数	500 通	回 答	235 通
調査方法	無記名アンケート方式	回 答 率	45.20%
概要調査	<p>業種</p>	<p>従業員規模</p>	

1. 業況、生産と売上、採算、資金繰り

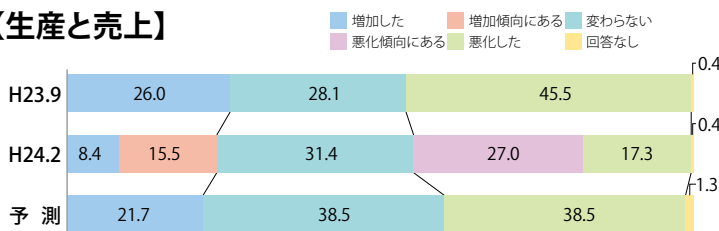
【業 況】



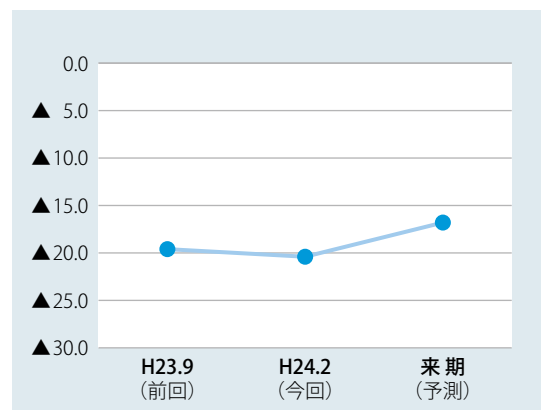
- ・業況が悪くなったと回答した企業は45.2%（前回より2.5%減少）となった。
- ・業況判断DI（好転-悪化）は上期▲24.3%、下期▲23.5%で、0.8ポイント改善した。



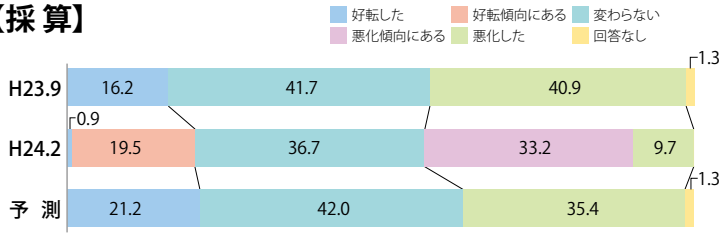
【生産と売上】



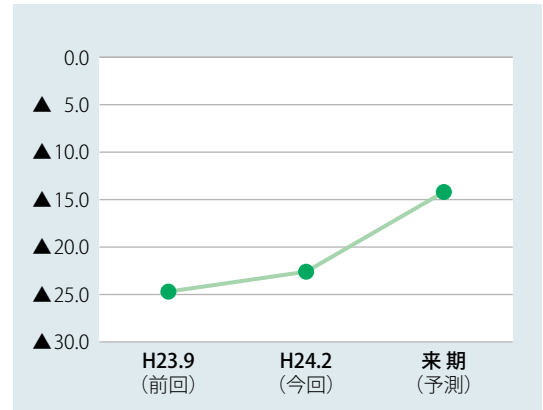
- ・生産と売上について悪化していると回答した企業は44.3%（前回より1.2%減少）となった。
- ・生産・売上DI（増加-減少）は上期▲19.6%、下期▲20.4%で、0.4ポイント悪化した。
- ・今後の予測DI（増加予測-減少予測）は▲16.8%で、3.6ポイントの改善を見込んでいる。



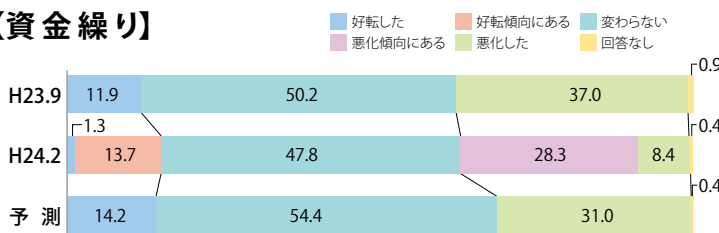
【採算】



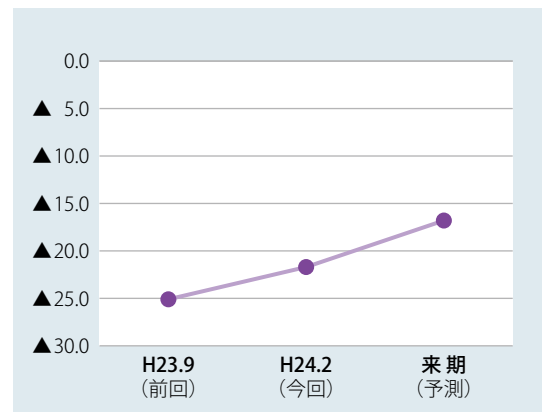
- ・採算について悪化したと回答した企業は42.9%（前回より2.0%増加）となった。
- ・採算DI（好転-悪化）は上期▲24.7%、下期▲22.6%で、2.1ポイント改善した。
- ・採算予測DI（好転予測-悪化予測）は▲14.2%で、8.4ポイントの改善を見込んでいる。



【資金繰り】

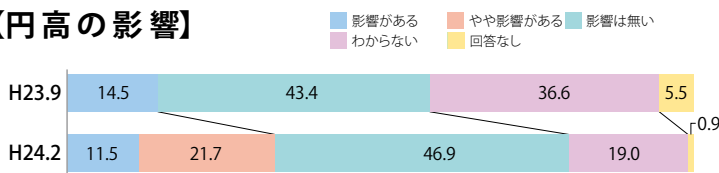


- ・資金繰りについて悪化したと回答した企業は36.7%（前回より0.27%増加）となった。
- ・資金繰りDI（好転-悪化）は上期▲25.1%、下期▲21.7%で、3.4ポイント改善した。
- ・資金繰り予測DI（好転予測-悪化予測）は▲16.8%となり、4.9ポイントの改善を見込んでいる。



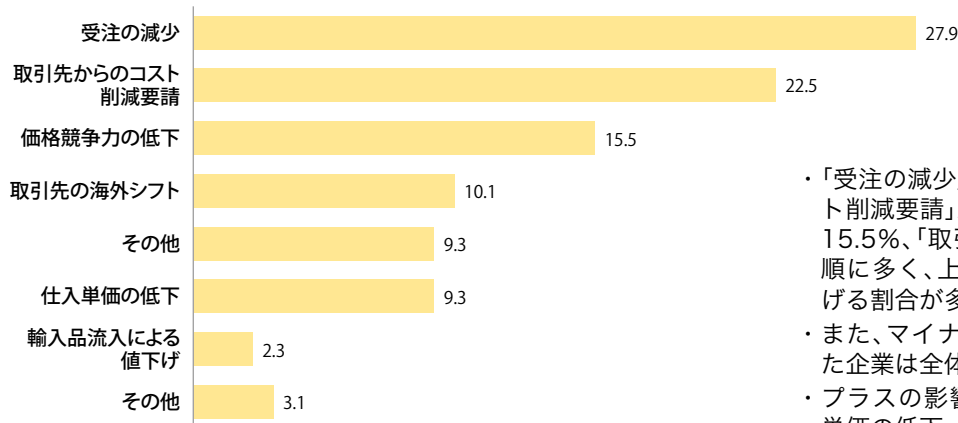
2. 円高の影響

【円高の影響】



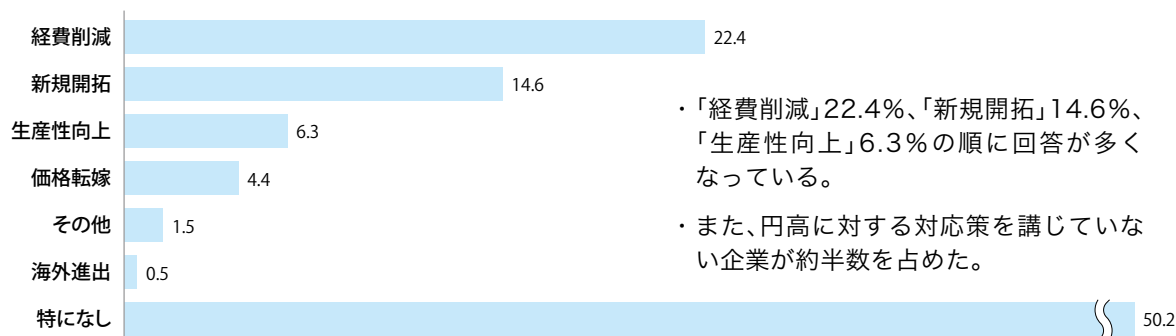
- ・「影響がある」と回答した企業は33.2%（前回より18.7%増加）となった。
- ・「わからない」と回答した企業は19.0%（前回より17.6%減少）となった。
- ・「影響がない」と回答した企業は上期と下期でほぼ同等となった。

【具体的な影響】

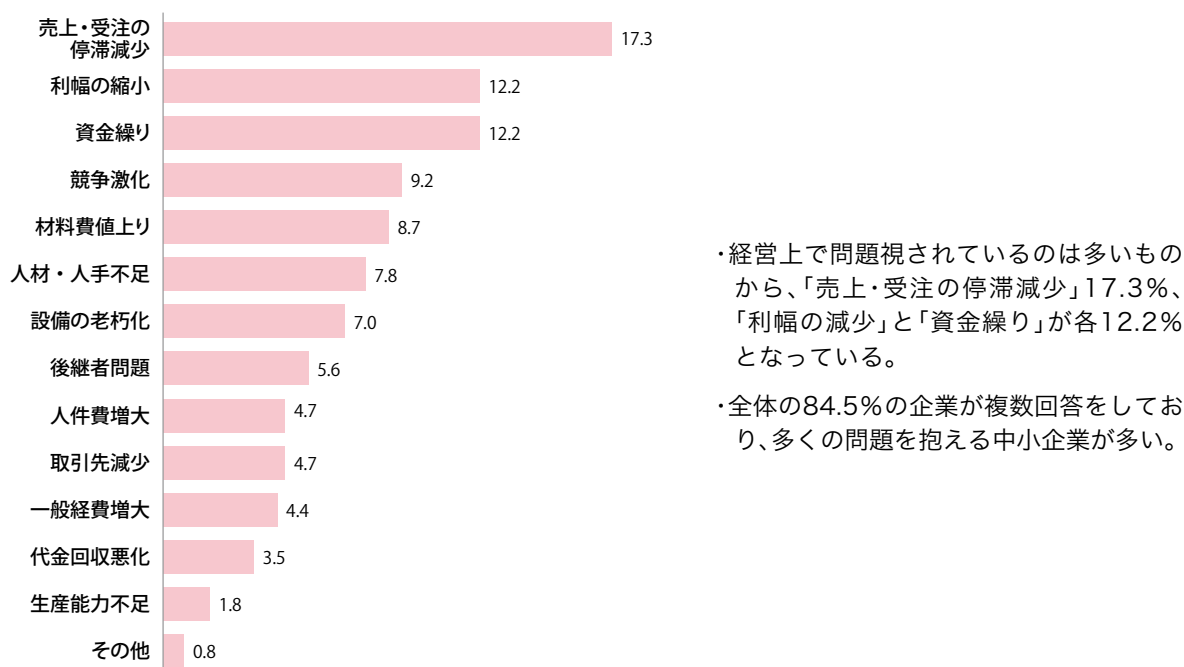


- ・「受注の減少」27.9%、「取引先からのコスト削減要請」22.5%、「価格競争力の低下」15.5%、「取引先の海外シフト」10.1%の順に多く、上期と比べ「受注の減少」をあげる割合が多くなった。
- ・また、マイナスの影響を受けたと回答した企業は全体の85.3%を占めた。
- ・プラスの影響を受けている企業は「仕入単価の低下」を一番に上げている。

【円高の対応策】



3. 経営上の問題



4. 求める支援

